

---

# 特別活動

---

## 1 研究のテーマ及びねらい

### (1) 研究テーマ

特別活動における資質・能力の三つの視点(「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」)から合意形成や意思決定を実践するホームルーム活動 ～ルールメイキングをテーマとした指導事例～

### (2) 研究のねらい

特別活動における資質・能力の三つの視点(「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」)から、合意形成あるいは意思決定を実践するホームルーム活動を想定し、各学校において特別活動の「評価の観点」とその趣旨、並びに評価規準を作成する際の参考となるよう、今年度は指導内容のテーマを「ルールメイキング」に設定し、指導計画及び評価の事例を作成する。

## 2 研究の内容及び方法

令和4年度から「高等学校学習指導要領(平成30年告示)」が年次進行で実施されることに伴い、高等学校特別活動においても学習評価の改善が求められている。

高等学校における特別活動の記録については、各学校が自ら定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入した上で、活動・学校行事ごとに、評価の観点に照らして十分に満足できる活動の状況にあると判断される場合に、「○」印を記入する。

評価の観点を決めるに当たっては、特別活動の特質や学校として重点化した内容を踏まえ、例えば「主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度」のように、各学校において具体的に定めることができる。評価をするに当たっては、「十分に満足できる活動の状況」とは「生徒のどのような姿」を目指すのかを校内で検討し、「目指す生徒の姿」について共通理解を図ることが求められる。なお、生徒のよさや可能性を積極的に評価することが大切である点に留意する。「○」印を付けた具体的な活動の状況等については、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄に簡潔に記述することも考えられる。

このような背景から、今年度も昨年度同様に、推進委員が所属する各学校の実情を基に上記資質・能力の三つの視点で合意形成あるいは意思決定を実践するホームルーム活動を想定し、指導事例を作成することとした。そして今年度は、生徒自身が自主的に議論を重ね、自分たちで学校の規則を見直したり新たにルールを作り出したりする、いわゆる「ルールメイキング」への取組が、生徒の主体性や自主性を育むことにつながると考え、指導内容のテーマを「ルールメイキング」と設定した。また、指導事例を推進委員全体で協議し、一つの学校での指導事例を考案することに決めた。その学校として重点化した内容を踏まえて特別活動の「評価の観点」を設定し、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成した。

### 《補助簿について》

日々の活動や様子を観察し、蓄積していく評価補助簿は、生徒のよさを積極的に読み取り、記録を蓄積していくことで、「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」を育てていく上でとても有効なツールであると考え。生徒一人ひとりの活動状況を把握すると同時に、学年のみならず全校の教員が評価資料を共有することができるため、共通理解を図り、学校の教育方針を明確化して、生徒に対する多角的・多面的指導に資することができる。「目指す生徒の姿」の実現に向けた評価実践に補助簿を活用することで、より具体化された指導と評価の一体化が実施できると考えている。

### 《高等学校特別活動の「内容のまとめり」について》

特別活動の「内容のまとめり」(高等学校)

#### ■ ホームルーム活動

- (1) ホームルームや学校における生活づくりへの参画
- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

#### ■ 生徒会活動

## ■ 学校行事

- (1) 儀式的行事
- (2) 文化的行事
- (3) 健康安全・体育的行事
- (4) 旅行・集団宿泊的行事
- (5) 勤労生産・奉仕的行事

## 3 指導事例

研究授業は未実施であるが、推進委員の所属校での実施を想定した指導事例として掲載する。

〔指導事例〕神奈川県立伊勢原高等学校(全日制の過程)

教諭：高橋 若奈

### (1) 目指す生徒の姿

- ・ホームルームや学校、社会生活を向上・充実させるために、様々なルールが設定された背景を理解し、異なる立場に立って考えながら合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。
- ・ホームルームや学校、社会生活を向上・充実させるために、異なる立場に立って考えながら課題を多角的に見いだし、多様な意見を取り入れながら自分の意見を伝え、合意形成に協働して取り組んでいる。
- ・ホームルーム及び社会の一員として、主体的に学び考え、自分の意見を相手に伝えようとするだけでなく、他者と協働しながら意見をまとめ合意形成を図ろうとする中で、良好な人間関係を作ろうとしている。

### (2) 指導と評価の計画案：「ルールについて考える」

#### ① 生徒(学校)の様子

本校は、インクルーシブ教育実践推進校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、すべての生徒が共に学び、相互理解を深める教育を推進している。発達障害等の特性のある生徒や、小中学校での不登校経験者や外国につながるのある生徒も数多く在籍する中で、一人ひとりが他者を思いやり、コミュニケーションを取りながら生活している。

学力は標準的だが、素直で真面目な生徒が多く、授業内の個人ワークやグループワークには主体的に取り組んでいる。

#### ② 内容のまとめ：「ホームルーム活動(1)ホームルームや学校における生活づくりへの参画」

#### ③ 議題：「よりよい生活を送るために、他者とのルールメイキングを考える」

#### ④ ホームルーム活動(1)で育成を目指す資質・能力

- ホームルームや学校、社会生活を向上・充実させるために諸問題を話し合って解決することや、他者を尊重し協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。【知識及び技能】
- ホームルームや学校、社会生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図り、他者への尊重と思いやりを深めて互いのよさを生かす関係を作ろうとしている。【学びに向かう力、人間性等】

⑤ 内容のまとめりごとの評価規準

【ホームルーム活動(1)「ホームルームや学校における生活づくりへの参画」の評価規準】

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間生活を よりよくしようとする態度
ホームルームや学校、社会生活を向上・充実させるために諸問題を話し合っ解決することや、他者を尊重し協働して取り組むことの大切さを理解している。 話し合い活動や合意形成を得るための手順や活動の方法を身に付けている。	ホームルームや学校、社会生活を向上・充実させるための課題を多角的に見いだしている。 課題を解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	当事者として、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。 他者への尊重と思いやりを深めて互いのよさを生かす人間関係を作ろうとしている。

⑥ 一連の活動と評価

時間	議題及び題材 ねらい・学習活動	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ホーム ルーム 活動 1	【テーマ：ルールメイキング①】 社会のルールについて考える ○ねらい 時代や社会の変化に合わせてルールも変化していく、ということについて考える。 ○活動 身近な法律である交通ルール(道路交通法)について、改正の内容やその社会的背景について調べ、共有する。	・社会生活を向上、充実させるために、交通ルールとその変遷について知っている。		・社会や時代の変化に合わせてルールも見直され、変わるということを理解しようとしている。
ホーム ルーム 活動 2	【テーマ：ルールメイキング②】 学校の校則について考える ○ねらい ルールが設定され変わっていく意図や背景を考える。 ○活動 自他の校則について、校則の設定の目的や時代背景などを調べ、学校でのルールメイキングについて考える。	・他者の立場を尊重して、別の立場に立って考えることができる。 ・校則を設定した背景について考えながら、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	・その校則が設定された背景について、生徒・教員・保護者・地域などの様々な立場に立って考え、課題を多角的に見いだしている。	・身近な題材として自身と重ね合わせて考えようとしている。

<p>ホーム ルーム 活動 3</p>	<p>【テーマ：ルールメイキング③】 他者とのルールメイキングを考える ○ねらい 他者と生活していく上でのルールの必要性を考える。 ○活動 ・ある場面を想定したロールプレイを行い、個人ワーク、グループワークを通してルールメイキングを体感する。 ・生活していく上でルールを作ることや変えていくことの必要性・重要性を知る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の意見を尊重しつつ、自分の意見を主張することができる。</li> <li>・集団の一員としての自覚を持って、一人ひとりの思いを意見として出し合い、多様な意見を取り入れ、互いに譲歩できる点を考えて合意形成を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を伝えるなど、積極的に協議しようとしている。</li> <li>・他者の意見を受け入れようとしている。</li> <li>・自他の意見を踏まえて、互いのよさを生かす人間関係を作ろうとしている。</li> </ul>
---------------------------------	---	--	---	--

⑦ ホームルーム活動「他者とのルールメイキングを考える」について

ア 議題（あるいは題材）

数人でルームシェアを行うと仮定し、共同生活を送る上でのルールを話し合いにより決定していく。役や住環境の設定はある程度こちらから提示する。

イ 本時における目指す生徒の姿

- ・ホームルームや学校、社会生活を向上・充実させるための課題を多角的に見だし、互いの意見や考えを認め合いながら話し合うことで、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して取り組んでいる。
- ・ホームルーム及び社会の一員として、他者と協働して自分と異なる意見や視点を取り入れながら日常生活の向上・充実を図ろうとし、共同生活を送る上で、他者と互いに気持ちよく生活をしていくためのルールが必要であることを理解しようとしている。

ウ 本時の展開 「共同生活をするときのルールを考えよう」

	生徒の活動	目指す生徒の姿
導入 (5分)	①本時の内容の説明を聞く。	①合意形成を行う姿勢や意欲がある。
展開1 (10分)	②一人暮らしを想定し、基本的な生活スタイルを考える。	②自分の生活スタイルを想像し、次の展開の土台となる自分の考えをまとめることができる。
展開2 (30分)	③4～5人でグループを作り、そのメンバーでルームシェアをするときのためのルールを考える。(20分)  ④各グループのルールや決定のポイントなどを共有する。(10分)	③自分の意見を主張しつつ、他者の意見をうまく取り入れるバランス感覚を持つ。よりよい集団生活を送るためにルールを設定したり、自他のよさを生かして生活上の役割を分担したりして、多数決ではなく、話し合いによって合意形成を図っている。【思考・判断・表現】 ④新たな意見や視点を自分に取り入れようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
終末 (5分)	⑤本時の振り返り  ⑥「ルールメイキング」のまとめ	⑤自分の意見を伝え、多様な他者の意見も尊重しながら、協力して課題を解決することの重要性を実感できている。【思考・判断・表現】 ⑥共同生活を送る上で、他者と互いに気持ちよく生活をしていくためのルールが必要であること、状況に応じてそのルールを変化させていくことも必要だということを理解しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

⑧ 補足

・本時の展開の③の基本的なルールは、

1. 相手の意見を否定しない(他者を思いやる)
2. 相手の気持ちを考え、相手の意見の背景を理解する
3. 自分の意見は持つが、固執しすぎない
4. 話し合いですべて決める(意見が食い違ってもジャンケンなどで決めない)
5. 相手を納得させる

とする。

人数が多ければ、同じ人が連続で話さないなどのルールを入れてもよい。

⑨ 評価

・評価については、補助簿などを作成し、個別に評価していく。

(評価補助簿の例)

番号	目指す生徒の姿 名前	各テーマ			グループ活動			メモ
		知識	表現	態度	知識	表現	態度	
		合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	課題を多角的に見いだしている。	自分や自分の身近にある「ルール」について様々な立場から考えようとしている。	諸問題を話し合って解決することや、他者を尊重し協働していくことの大切さを理解している。	課題解決のために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図っている。	他者への尊重と思いやりを深めて互いのよさを生かす関係を作ろうとしている。	
1	A							
2	B							
3	C							
4	D							

## ⑩ まとめ(解説として)

- ・本研究では、ルールの作成や変更・改定を「ルールメイキング」とし、合意形成を実践するホームルーム活動の指導と評価の計画案を作成した。
- ・本指導と評価の計画案は、調べたことに対して自分の意見や考えを持つこと、それを相手に伝えること、他者の意見を尊重しながら合意形成を図っていくことを軸に作成した。他者の意見に頼るばかりでなく、また、自分の意見に固執することもなく、主体性と協調性のバランスを体感できるような展開にしていきたい。なお、本校生徒の実態に合わせて、ルームシェアのロールプレイの役割は教員側が提示する形にしたが、各校の生徒の実態に合わせて、生徒が話し合いの中で役割を考える形式も想定される。
- ・一連のホームルーム活動を通して、他者と関わりながら生活していくにはある程度のルール(法律・条例・地域のルール・校則・クラスのルールなど)が必要であることや、状況に応じてルールを変化させていくことも必要であるということを理解させたい。また、ルールを作るためにはどのようなことを考える必要があるのかということや、ルールを変えるにはどれだけの時間がかかるのかということなど、合意形成に至るまでの過程を重視したい。したがって、活動3においては最終的に決まらなくてもよい。共有の時に、「どの点が譲歩・妥協できなかったのか」「すり合わせが難しかったのはどこか」などを発表させて、ルールを作っていくことの難しさを感じさせてもよい。